

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和8年8月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食 料 品	0	3	1	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1
	織 維 工 業	1	1	1	1	1	1	2	1	0	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1
	木 材 ・ 木 製 品	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1
	紙 ・ 紙 加 工 品	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄 鋼 ・ 金 属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
	一 般 機 器	3	0	0	0	3	0	2	1	0	0	2	1	1	1	1	0	2	1	0	1	2	0	1	2	2	0	1
	電 気 機 器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸 送 機 器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0
	そ の 他																											
小 計		6	9	5	2	14	4	8	11	1	1	16	3	4	10	6	0	18	2	1	12	7	1	16	3	3	11	6
非 製 造 業	卸 売 業		2		0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1	1
	小 売 業	2	3	1	1	4	1	2	4	0	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2
	商 店 街			1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	サ ー ビ ス 業	1	3					1	3	0	0	4	0	1	3	0	0	3	1				0	4	0	0	3	1
	建 設 業	1	1	2				2	2	0	1	2	1	1	3	0	1	3	0				0	3	1	1	3	0
	運 輸 業			1				0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
	そ の 他		2					0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
小 計		4	11	5	1	6	2	8	12	0	1	17	2	2	13	5	1	16	3				0	19	1	1	14	5
合 計		10	20	10	3	20	6	16	23	1	2	33	5	6	23	11	1	34	5	1	12	7	1	35	4	4	25	11

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和7年8月～令和8年8月)

三重県中小企業団体中央会

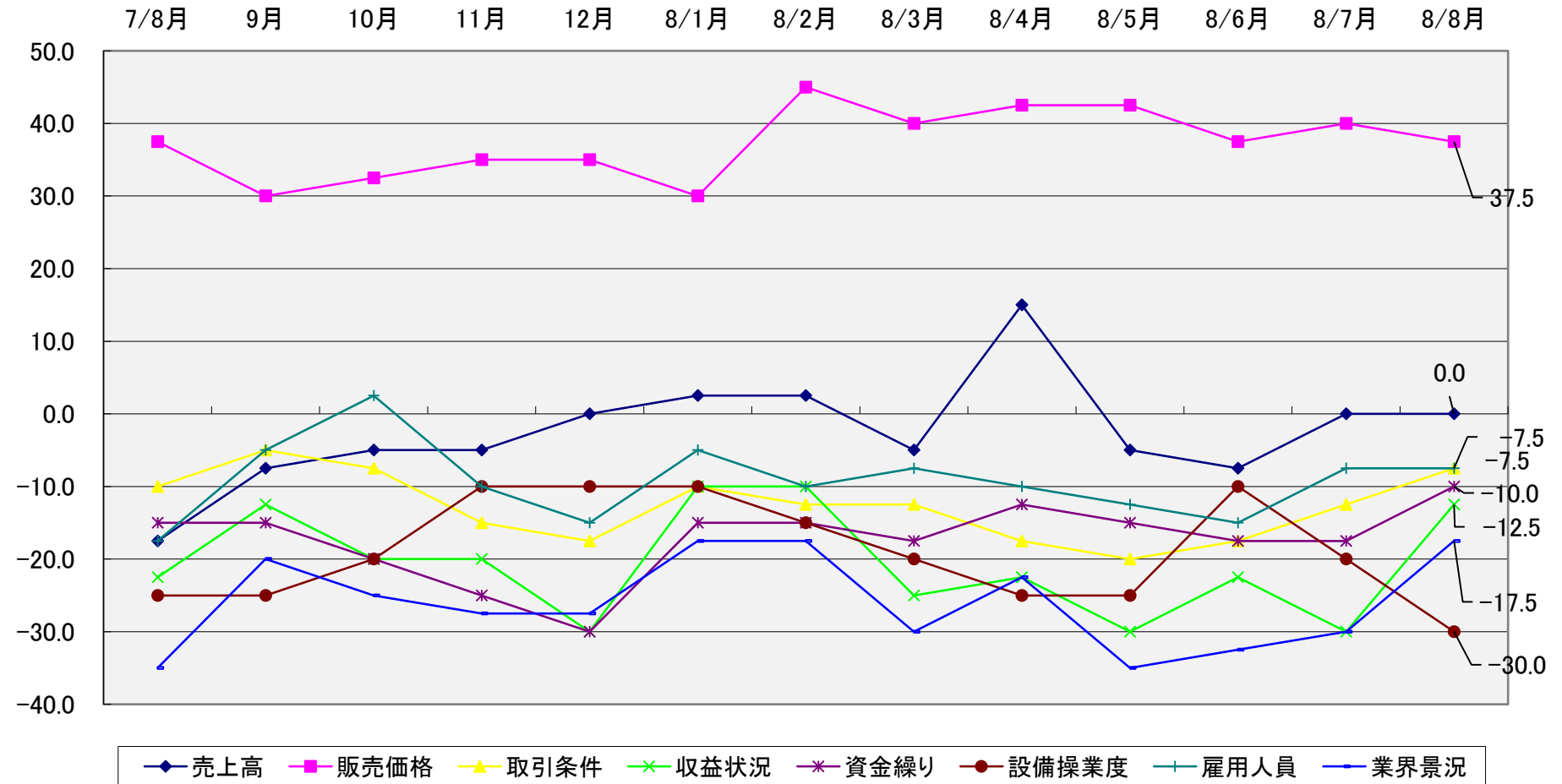
連絡員総数 40 名

	7/8月	9月	10月	11月	12月	8/1月	8/2月	8/3月	8/4月	8/5月	8/6月	8/7月	8/8月	増減
売上高	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5	-5.0	15.0	-5.0	-7.5	0.0	0.0	0.0
販売価格	37.5	30.0	32.5	35.0	35.0	30.0	45.0	40.0	42.5	42.5	37.5	40.0	37.5	-2.5
取引条件	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-17.5	-10.0	-12.5	-12.5	-17.5	-20.0	-17.5	-12.5	-7.5	5.0
収益状況	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	-25.0	-22.5	-30.0	-22.5	-30.0	-12.5	17.5
資金繰り	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-30.0	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-15.0	-17.5	-17.5	-10.0	7.5
設備操業度	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	-10.0	-10.0	-15.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0
雇用人員	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	0.0
業界景況	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-27.5	-17.5	-17.5	-30.0	-22.5	-35.0	-32.5	-30.0	-17.5	12.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	No.	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造	食料品	1	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、イラン戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、経営を圧迫する状態が続いている。昨年からの米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。今後秋野菜の栽培が始まるが、今年の異常な高温と降雨により生育への影響が心配されている。
		2	醤油味噌	猛暑、お盆休み等で生産は減少傾向である。メーカーの原材料の値上げが8月以降続くため一部に前倒し購入がみられる。今年の夏は自然災害が頻発し、しょうゆ・味噌メーカーも少なからず被害を受けている。熊本地震で被災した熊本県のしょうゆ・味噌メーカーに対し業界として義援金を送ることとなった。被害が甚大であると事業の継続が困難となり廃業するメーカーが出てこないかと心配である。三重県内の事業者も災害に対する意識をこれまで以上に持つ必要がある。
		3	他に分類されない食料品 製造業	市内小学校の給食室の老朽化、中学校給食などなかなか話は前に進まずにいたが、順次小学校給食と中学校給食をあわせて提供する工場建設になるようだ。我々の工場はどうなっていくのだろうか。説明会や懇談会があれば参加しようと思う。8月いっぱい工場が休みになるのは加工賃が入らず運営が大変である。何か考えなければならぬ。
		4	製麺	伊勢うどんについて、カレー味のついた商品は組合として認めない事を臨時総会を開いて決議する。現状は材料費及び燃料費の高騰、人件費など、あらゆる物が値上げされて中小零細には厳しい状況が続いている。商品価格の値上げを余儀なくする事で、今後のなりゆきで業界として厳しい状況にはなるが、現状は値上げをきちんとして今後を乗り切っていく覚悟で取り組んで行く。
	繊維工業	6	衣料縫製	地震、大雨など自然災害が多発しており、消費環境は減衰状態が続いている。特に衣料の販売額は、大きく減少している。国際的にも戦争による輸入物価の値上がりは、より消費抑制となっている。加えて、円安、金利上昇により今後の経営状態の悪化が推察される。
	木材・木製品	8	木材	住宅資材等の入手困難な状況は改善されてきたが依然として新設住宅着工の鈍化が続いている。円安、輸送コスト、燃料費の高騰等もあり、国産材製品の荷動きは依然として低調でコストに見合った価格転嫁は進んでいない。
		9	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。従業員の確保が困難である。機械や消耗品等、修理費の価格が高い。
	紙・紙加工品	10	古紙	8月の仕入量は、段ボール・平均約98±3%位、新聞、チラシ・平均約90±7%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて平均約94±6%位である。今月も段ボール古紙の発生が前年比を上回る事業所があるようだが、新聞と雑誌古紙の1ヤードあたりの取扱量が減りすぎて、前年比を計算するとバラツキが大きくなっており△80%～100%となっているのが実態のようである。中部の製紙会社は段ボール古紙の取引価格を9月1日から0.5円／キロ当たりの値上げとなった。しかしながら、中部圏の古紙価格は、関西圏・関東圏に比べると1円以上安く、段ボール古紙輸出価格も値上がりして2円以上の差があるようだ。四国と四日市市の取引先の経営破綻の債権は8割強の金額が返ってくるようだ。又、ネットでボックスティッシュを注文したら商品が届かずにネットショップが休店と言う事だった。日米の共同の為替介入もあるようだが、1ドル120円から160円弱に為替が円安になって日本の古紙の価値と品質と納品期間を考えるとドル価格が安すぎるように思う。3%ほどの金利高となり、人件費の適正化と人手不足や物価高や燃料不足等と実質的な収入や粗利の不足の状況である。古紙や古着の持ち去りやゴミの置き去りも立法化の方向に進んでいる状況である。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	No.	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
業	印刷	11	印刷	去る8月31日に、毎年開催される国・県の政策・予算に関する要望聞き取りを自由民主党、新政みえに対し、要望書を提出してきた。要望については、4点に絞り、1. 県内で本社を構える事業者と、県外に本社があり、支店や営業所として事業を行う者と区別し、県内本社事業者を優先すること。2. 原材料費高騰による価格転嫁がしやすいよう最低制限価格の見直しと最低制限価格の適用を、三重県庁本庁のみではなく出先機関でも適用させる、また委託扱いにおいても最低制限価格の適用を求めること。3. 総合評価方式による事業者選定。環境分野に取り組む、多様化する時代に併せた見え方の資格有無、法律で定められた人員の有無などで評価・調達基準とすること。4. 知的財産権の適切な取扱い。毎年著作権譲渡の問題をこちらからしているにも係らず、何ら進展しないこと。コンテンツ版バйдール契約においても、発注者の認識不足で発注者側、受託者側に著作権を残すといった理解に苦しむ仕様書が平然と発出されている問題を改善するように要望した。補足で仕様書の誤りもあることから、仕様書に不備がないかを再確認のうえ、公開するようお願いをしてきた。
	窯業・土石製品	14	伊賀焼	消費者にとって物価高の中、イベントを開催して伊賀焼に興味をもっていただければ幸いである。
	鉄鋼・金属	15	鍍金	業界の生産額は、総じて堅調な状況である。中心は自動車車載部品関係で、特にEV関連の受注が好調である。ただ、不透明な中東情勢の影響により経費の高騰が顕著になってきており、収益が圧迫される可能性がある。
	一般機器	16	四日市市	原材料費、仕入れ品の価格の上昇が止まらない。原価の低減、販売価格の見直しを今以上に行っていけないと利益確保は難しい状況になってきている。業界の設備投資意欲は高まっていると感じる。価格が上がる前に投資しておこうという流れを感じる。
		17	津市	8月は夏季休暇もあり、売上は低くなるが前年と比べると増加している。ただし、昨年より部品単価が上がっているだけで収支は良くない。出荷制限のあった潤滑油やアルコール類は先月よりは入荷しやすくなったが、一部の入荷は少し遅れが続いている。早く正常に入荷してくれることを望んでいる。
		18	伊勢市	先月と同様に売上が昨年同月比で上昇している。毎年8月は一服感があるが今年は感じられない。自動車関連も工作機械関連も生産設備の投資は堅調である。原材料価格の値上がり分の価格転嫁はでき、値上がりも一応は落ち着いてきた。気がかりは、米国・イスラエルのイランとの紛争に石油価格の先行きに不安を感じていて早く解決することを願っている。
	電気機器	19	鳥羽市	先月より少し動きが出てきた。しかしお盆休みもあり、生産を上げるのは足踏み状態である。後半は少し期待できそうな話が出てきている。
	輸送機器	20	伊勢市	自動車部品受注は、昨年比堅調であり、また、市場のニーズに応えらた新規受注対応部門では増加。一般機械器具の受注は前年比減。最近、特に、消耗品の値上がりによる収益への影響が増加。引き続き、企業物価の動き、エネルギー価格の高騰による動力費の動向に注視し、こまめな管理を行っていくことで利益の確保につなげたい。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	No.	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
小売業	24	青果	（野菜前半）入荷状況は全体的に落ち着いているが、お盆前になるとトマト、キュウリ、ブロッコリー、キャベツ等が値上げの見込みがあり、北海道産タマネギ、ジャガイモは豊作の見込みとなり値下げ気味である。ニンジンも北海道産が順調に入荷された。 （野菜後半）北海道産タマネギ、ジャガイモは今年は豊作で価格も安くなってきた。北海道産カボチャは旬を迎え9月中旬ごろ最盛期になり、おいしくてお買得になった。北海道、長野産キュウリはお盆の高値の反動で値下がりした。高値が続いていた群馬、長野産キャベツと長野産ハクサイは、入荷が増え価格が落ち着いてきた。岐阜、愛知産トマトは出荷量が減り、値上がり傾向である。 （果物前半）地場産のナシ幸水は今年は昨年に比べ豊作で味も良く、贈答用に人気である。価格は高値止まりである。スイカは、長野、山形産が順調に入荷しているが、晴天続きで味も良く、暑さで人気である。モモは、山梨、長野産いずれも天候に恵まれ味良く価格も高い。愛知産ハウスみかんは、今年は最盛期が早く、お盆前には高くなりそうである。 （果物後半）順調に入荷している。価格は高値だが9月になれば安くなりそうである。ナシは、長野、新潟、富山の幸水と県内産、愛知産の豊水が入荷され、価格は横ばいである。モモは長野産川中島白桃がピークであり、ブドウは、長野、山梨産巨峰、シャインマスカットの入荷が多くなってきた。愛知産イチジクは最盛期になってきた。リンゴは長野産、サンつがるの入荷が増えてきた。
	25	自転車	早場米の主要産地である高知、鹿児島、宮崎県ではJAグループがコメ農家に前払いする金額が昨年に比べ2～4割下落した。店頭価格は値下がり傾向で今後の新米価格は安くなるとの見方である。我々消費者は徐々に「安値」を感じるところである。熊本地震の影響で一部部品の入荷が困難な大企業ではお盆休みが2週間にもなった。猛暑が続く中、学生は夏休みということもあり、食品以外、消費者の財布のひもは固く、自転車店は皆休業状態となっている。部品メーカー(株)オリンパスが組合員向けに井上タイヤの人気タイヤ夏期特別セールを打ち出している（期間9月10日まで）
	26	電器	夏商戦は順調といえるところだが、気温が高くなりすぎるところから熱中症対策の話が業者の間では出ている。今年だけでなく今後も気温が高いままなら対策や作業の基準（何度以上は作業を止めるなど）を作成することも考えるべきなのかもしれない。エアコンの商品に関しては品不足の話はほとんど出ていなかったが、工事に使う部材が一部入手できない事で困っている業者があった。こちらは今も継続している。
	27	石油	現在、ガソリン等に出ている緊急的激変緩和措置は、レギュラーガソリンが全国平均170円程度となるよう補助金が出ている。7月頃から、夏休み明けの9月からは170円の基準価格が175円から180円になるという噂が流れており、ガソリン価格等の値上げを覚悟していた次第である。ところが、高市首相の会見等の報道にもあったが、予備費を活用したうえで、9月以降も170円程度の目標が継続された。少なくとも10月末までは継続されると見込んでいる。
	28	スポーツ	8月6日～10日に東海中体連大会が開催された。3種目が行われたが売上は芳しくなかった。来年度からは開催種目が減りさらに売上は厳しくなる一方である。
商店街	29	熊野市	今年も熊野大花火大会にあわせ商店街内で開催した物産展では約40のブース出店やビアガーデン等があり平日にも関わらず大いに賑わった。ただ全体の観客数としては10万人を割り込み約8万人ということで商店街地域以外の店舗等の売上は昨年より少し落ち込んでいるとのことだった。
サービス業	31	旅館	昨年は「大阪万博」へ家族旅行が集中していたため苦戦したが、今年は台風の襲来もなく、昨年より大きく売上げを伸ばせると期待していたが、猛暑による出控えや各地で出た集中豪雨による被害、地震の情報も多くあり、期待ほどの伸びはなかった。また、海水浴場も日曜日以外は閑散としているなど、お客様の海水浴離れなどの志向の変化も大きな要因であった。昨年同月比120%、2019年同月比は80%程度のものであった。
	33	警備	例年の如く、今年も猛暑であり、作業時間の短縮や労働時間の変更などで健康管理に気を付けて乗り切った。
	34	総合工事業	2026年7月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べ約1割増となっている。内訳でみると、国・県のいずれも増額の状況である。4月から7月のトータルでみると約1割の減となっている。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	No.	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	建設業	35	内装工事業	8月はお盆休みもあり、売上は減少傾向であるが、本年度は対前年同月比でプラスとなった。物価高による原材料の高騰等により、建設関係の受注が鈍いため、業界の景況予測は厳しくなると思われる。
		37	水道工事業（亀山市）	亀山市からの委託業務の量水器の取替えは順調に進んでいる。また、漏水修理については件数が若干減少となっている。工事については、未だ材料等の価格が高止まりしており、見積価格が施主の予算と合わない状況が続き、受注に向けて困っている。

行政庁・中央会に対する要望事項

	集計上の分類業種		具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
	食料品	3	他に分類されない食料品 製造業	いつもありがとうございます。
	食料品	4	製麺	臨時総会宜しく願います。式年遷宮に向けては伊勢うどんの知名度も上げてゆきたいと思います。楽しみです。組合活動も年々減っていく事が懸念されます。組合活動も今後の必要性を感じられる組織づくりに取り組んで参ります。
	一般機器	16	四日市市	原材料価格、仕入れ品の価格の上昇は止まる様子は見られない。販売価格の見直しを行っていかないと利益確保は難しい。この流れを賃金の上昇につなげていくために、賃金を上げる企業に対する助成金等の補助を期待したい。
	小売業	27	石油	原油の輸入量を安定させ、価格の高騰が一段落するまでは、引き続き緊急的激変緩和措置の継続を強く要望する。
	サービス業	31	旅館	装置産業である旅館ホテル業は債務が多くあり、最近の金利上昇は大きな打撃である。リスケ、保証協会による保証枠の拡大等による金融支援を早急に実行してもらいたい。
	建設業	36	電気工事	女性部設立にあたり、何かとご指導宜しく願います。